

職員による自己評価

A環境面

3店舗あるのをいかして、それぞれの児童にあった色の店舗を選べるので、児童が過ごしやすいよう配慮出来ている。

B児童への支援内容

昔から知っている子も多く、保護者様ともよく連携をとれていると感じている。

C関係機関との連携

全員でということとはほぼなく、卒業が近い子や高学年の児童に関しては、B型事業所さんなどと連携して体験させていただいたりする機会がある。

D保護者への説明責任・信頼関係

主に送迎時や連絡帳だが、長期に渡って関わらせていただけて、信頼関係を築けていると実感している。

E非常対応

定期的に行っているが、偏りはある。

保護者による評価

A環境面

楽しく通える環境
生活介護もあるのが安心

B児童への支援内容

長いので、よく知ってくれていて、他の子とも長期に渡り良い関係を築ける

C事業所からの情報発信

保護者会等の開催や説明をされる機会が送迎時がほとんど。

LINE等があるので、何かあれば連絡は気軽に出来る。

D非常対応

分からない部分が多い。

事業所内での分析

【共通点】

楽しく通えている
外出活動など楽しい所に連れて行ってくれている。
就労準備という点でも支援に満足を得られている。

【相違点】

他業種を含む他の事業所との関わりが、どうしても全員でということが難しく、高学年の子を優先しているのもあり、児童によってだいぶ差が出てしまっていて、それによる評価の幅が出てしまっている。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

楽しく通える環境作りや活動が考えられています。一部除き満足いただけている。

就労先として生活介護があったり、就労先の事業所さんとの関わりを強みに保護者様に相談していただいた際に適切に対応できる。

長期に渡り開業していて、途中で退所する子どもも少なく、児童同士や職員とも信頼関係を深く築けている。

事業所の改善点

就労準備型なので、就労先を見据えた他事業所との関わりがほとんどで、どうしても他事業所との関わりに児童の偏りが多くなってしまっている。

感染症が拡大していたのもあり、保護者会等の連携がなされていなかったが、機会を増やしていければと感じている。

事業所の改善への取り組み

他関係機関との連携や保護者会等の連携など、連携の面で満足いただけていない部分が多く、開所から感染症等の配慮で事業所として今までやっていなかったのを、これから増やしていければと考えている。

活動や支援の面では満足していただけているので、継続とまた新しい変化も加えていきたいと考えている。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

楽しみに来所してくれて、楽しんでくれている声はとても嬉しい。

普段の業務等とは違った非常対応や他機関との連携の部分を今後考えていけたらと思っています。

長期に渡るにつれ児童同士で仲良くなったり、卒業生も増え、いまだにイベント等に出席してきてくれるのありがたいし、やりがいを感じています。

事業所名

BeNEXT 白楽

担当者

杉谷 圭介